

大阪・船場、
くすりの町の落語会

落語

道修町 たなみん寄席



笑福亭松喬
「お文さん」



笑福亭由瓶
「松山鏡」



桂米輝
「擬宝珠」

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「お説教が落語に
生まれ変わるには」

第6回「お説教から落語へ」

落語のルーツには、仏教のお説教があることはよく知られていますが、
そのためには見世物や物語など庶民が受け入れやすいものが両者をつなぐ媒体になっています。
仏教ネタの落語の端々に見え隠れする庶民文化を探ってみましょう。

落語はどうやって
落語になるの？



11/23 (祝・土)

6:30PM～

入場料 1,000円

定員 200名 (要申込・先着順)



田辺三菱製薬



大阪・船場、くすりの町の落語会

道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか、田辺三菱製薬のキャラクターとして活躍中！

落語は、人びとの 日常生活を映す鏡 だったのかもしれない。

落語のルーツに仏教のお説教があることはよく知られています。しかし、お説教が落語に発展するためには、それを受け入れる庶民の文化や教養が不可欠でした。ふだんの暮らしの中の生活習慣や食事、さらには芝居や見世物といった娯楽などにリンクできるお説教が、落語に仕立て上げられ、受け入れられていったのです。今回は、仏教ネタの落語を楽しんでいただきながら、その端々に見え隠れする庶民文化を探ってみましょう。

◎資料(背景写真)について



「新牟婁射文庫」 猿猴庵「七面鏡」 (名古屋市博物館蔵)

作者である猿猴庵は、名古屋藩の藩士であった高力種信(1756～1831)のことです。種信は俵300石の中級藩士でしたが、その一方で、名古屋周辺の祭礼や見世物小屋、出陣帳などに足繁く通い、その様子をカラフルな挿絵と解説文で記録した膨大な著作を残しています。「新牟婁射文庫」にも、文政4年(1821)の見世物小屋で展示されていた「七面鏡」が紹介されています。このような庶民文化が、実は仏教のお説教と落語を結び付けたのです。

第6回「お説教から落語へ」

笑福亭松喬「お文さん」 笑福亭由瓶「松山鏡」ほか 高島幸次(講演)「お説教が落語に生まれ変わるには」

日時 2019年11月23日(祝・土) 6:30PM～8:30PM頃(受付開始5:45PM～)

会場 田辺三菱製薬株式会社

入場料 1,000円 定員 200名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-6484-9678

道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製薬史料館を
見学いただけます。



<https://www.tanamin-yose.net>

◎ご参加までの流れ

①お申し込み

10月1日(火)10:00AMより
インターネット、ハガキ、
FAXで受け付けています。

②受講票発送

11月1日前後から
発送を開始します。

③当日お支払い

当日、会場でお支払いを
お支払いください。

お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただきます。
整理番号は受講票に記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しいただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-6484-9677

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製薬株式会社 企画・運営/株式会社140B

